

川崎市民プラザ現施設の利用終了に伴う新たな施設整備に係る 基本構想検討支援業務委託 仕様書

1 業務名称

川崎市民プラザ現施設の利用終了に伴う新たな施設整備に係る基本構想検討支援業務委託

2 目的

本業務は、川崎市民プラザの現施設利用終了後の新たな施設整備に向けた基本構想の策定に必要な検討支援、市民意見聴取の実施支援、施設整備に必要な基礎調査等の実施支援等による基本構想検討支援の実施を目的とする。

3 履行場所

川崎市内ほか

4 履行期限

契約の日から令和9年3月31日まで

5 川崎市民プラザの諸元

所在地 : 高津区新作1-19-1

敷地面積 : 33,580.13㎡

延床面積 : 12,775.3㎡

地域地区 : 準住居地域

建ぺい率 : 60.0%

容積率 : 200.0%

6 業務委託の内容

既往資料のほか、発注者が提示する与条件等に基づき、基本構想の策定に必要な次の業務を行う。

ア 基本構想の検討支援

- (ア) 新たな施設に必要な役割、機能及び諸室の検討・設定（他施設との合築の可能性）
- (イ) 役割や機能の実現に必要な事業活動の検討
- (ウ) 各種調査・分析（国や他都市の類似施設の動向等の調査・分析）

イ 市民意見聴取（ワークショップ）の実施支援

新たな施設にもとめられる役割や機能について、市民等との意見交換の機会を設ける。

- (ア) 企画立案（令和8年7月から10月まで全4回程度を想定、30～40名程度、川崎市在住・在勤・在学者を対象）
- (イ) 開催準備（告知資料・当日資料作成）
- (ウ) 当日の進行
- (エ) 実施結果の取りまとめ

ウ 必要な機能や役割に基づく施設計画素案の検討支援

- (ア) 敷地諸条件の確認
- (イ) 諸室・構成の検討
- (ウ) 諸室・構成に基づく配置計画の検討
- (エ) 施設管理の考え方
- (オ) 外構計画の検討
- (カ) 建物に係る諸設備の条件設定の検討

エ 施設整備手法、管理運営手法の検討支援

- (ア) 施設整備スケジュール案の検討
- (イ) 想定施設規模に基づく施設整備費用（概算）の算出
- (ウ) 施設整備手法、管理運営手法の洗い出し及びメリット・デメリットの整備

オ 施設整備に必要な基礎調査等の実施支援

- (ア) 敷地全体のインフラ設置状況調査（電気、通信、上下水道、雨水排水経路、ガス等のルート）
- (イ) 既往資料の整理（主に図面類）

カ レッドゾーンへの対応の検討支援

- (ア) 対応の検討に必要な基礎調査等（日本庭園内工作物の劣化調査等を含む）
- (イ) 対応方法の検討（複数案の想定工法・敷地全体の対策工の範囲を示す概略平面図・代表的な概略断面図・概算費用・神奈川県との協議）
- (ウ) 防災カルテ・点検表の作成（擁壁3エリア）
- (エ) 測量の実施（別紙参考数量を基本とする）
- (オ) 地質調査の実施（別紙参考数量を基本とする）
- (カ) 法面予備設計（別紙参考数量を基本とする）

キ 打合せ・資料作成支援等

発注者及び受注者は、本委託業務を円滑かつ効果的に実施するため、綿密に打合せを実施するとともに、業務の進捗状況の確認及び調整を随時行うものとする。

また、発注者が庁外の調整等に本委託業務に係る資料を提出する必要がある場合は、受注者はその作成を支援する。

ク 報告書の作成

上記ア～キについて、報告書にまとめる。報告書には、打合せ・各種協議記録等を含む。

また、ア～カの検討にあたっては、各種法令や国及び以下に示す本市の基準等、公的な基準等（最新版）を適用し、適用基準等がない事項については、発注者と十分協議する。

7 業務の体制

業務の実施にあたっては、次の資格要件を満たす技術者等を配置すること。

	資格要件
管理技術者	<ul style="list-style-type: none">・ 建築士法第2条第2項に規定する一級建築士及び技術士法第2条に規定する技術士（都市及び地方計画）・ 認定ファシリティマネジャー（CFMJ）の資格を有することが望ましい・ 次の業務経験を全て有すること<ul style="list-style-type: none">(1) 既設擁壁及び法面対策について、安定解析及び工法比較検討、対策手法検討等を実施した対策検討業務（過去10年以内）(2) 公共文化・教育施設の基本構想策定業務（過去5年以内）(3) 2,000 m²以上の複合施設の基本構想策定業務（過去5年以内）
担当技術者	<ul style="list-style-type: none">・ 建築士法第2条第2項に規定する一級建築士・ 技術士法第2条に規定する技術士（都市及び地方計画）及び認定ファシリティマネジャー（CFMJ）の資格を有することが望ましい・ 次の業務経験を全て有すること<ul style="list-style-type: none">(1) 公共文化・教育施設の基本構想策定業務（過去5年以内）(2) 2,000 m²以上の複合施設の基本構想策定業務（過去5年以内）
照査	<ul style="list-style-type: none">・ 建築士法第2条第2項に規定する一級建築士・ 次の業務経験を有すること<ul style="list-style-type: none">(1) 2,000 m²以上の複合施設の基本構想策定業務（過去5年以内）

8 資料等の貸与

業務の実施にあたっては、次の資料（紙またはデータ）を貸与する。貸与を受ける際には、借用書を作成し、作業終了後には速やかに返却すること。また、取扱に十分注意すること。

- ① 既存本館建物のボーリング調査結果報告書
- ② 既存日本庭園部分の発注図等
- ③ その他、本業務を実施するにあたって必要な書類（既存のもの）

9 成果品

(1) 本業務の成果品は、次のとおりとする。

- ① 報告書（上記6のクでまとめたもの） A4縦判 3部（簡易製本）
- ② 報告書データを収めたCD-R 1枚

(2) 上記(1)①の報告書の策定にあたっては、体裁等について発注者と協議すること。

(3) 上記(1)②のCD-Rは、ウイルスチェックの上、ウイルスチェック証明書（任意様式）とともに納品すること。また、データのうち文書、表計算及びCADデータは、ワード、エクセル及びCAD（dxf形式）ファイル等の汎用性のあるデータにより収めること。

(4) 本委託業務で作成したMicrosoft Word、Microsoft Excel等の形式による各種データ、調査事項の集計結果データ、分析結果データ、統計情報等の資料一式は、発注者の求めに応じて速やかに提出すること。

10 その他

- (1) 本業務遂行中に知り得た情報等については他に漏らしてはならない。
- (2) 受注者は、各種業務等の実施手法や実施内容について適宜発注者と協議を行い、協議結果を踏まえた上で各種業務等に着手すること。
- (3) 受注者は、発注者が指定した期日までに成果物等を提出することとし、成果物等の編集等については、発注者と十分協議すること。
- (4) 受託者は市と事前に協議することなく、成果物を貸与し、又は使用してはならない。
- (5) 本委託業務に係る成果物等の著作権、所有権等の権利は、すべて発注者に帰属するものとする。また、発注者は、成果物等のすべてについて、業務に必要な範囲で改変し、または二次利用する権利を有するものとする。
- (6) 作業中に事故が発生した場合、速やかに監督員に連絡し、誠意を持って適切な措置を講ずること。また、発生した損害に関する一切の賠償は受託者の責任において行うこと。
- (7) 本業務において法令等に基づく申請等が必要となる場合には、すべて受託者の負担において受託者が当該申請等を行うこと。
- (8) この仕様書に定めのない事項、または不明な点がある場合は、川崎市の条例または規則に定めのある場合を除いて、その都度、両者協議の上で決定すること。

参考数量

6 業務委託の内容関係

カ-(エ) 測量の実施

工種、種別、細別	数量	適用
■基準点測量		
4級基準点（伐採なし） 永久標識設置なし	35点	市街地乙・丘陵地
■水準測量		
4級水準測量観測（道路上）	1km	大市街地・平地
■現地測量		
作業計画 1/500	1業務	市街地乙・丘陵地
現地測量 1/500	0.04km ²	市街地乙・丘陵地
■路線測量		
作業計画	1業務	
中心線	0.4km	市街地乙・丘陵地 測点間隔 20m
縦断測量	0.4km	市街地乙・丘陵地
横断測量	0.4km	市街地乙・丘陵地 測量幅 80m 測点間隔 20m

カ-(オ) 地質調査の実施

工種、種別、細別	数量	適用
■土質ボーリング（ノンコアボーリング）		
φ66mm		
粘性土・シルト	13m	
砂・砂質土	4m	
固結シルト・固結粘土	3m	
φ116mm		サンプリング用
粘性土・シルト	13m	
砂・砂質土	2m	
■標準貫入試験		
粘性土・シルト	20回	
砂・砂質土	4回	
固結シルト・固結粘土	4回	
■簡易動的コーン貫入試験	42m	粘性土（3m×14本）
■サンプリング		
デニソンサンプリング	2本	
トリプルサンプリング	1本	

■石積擁壁の材料調査		
コア削孔・採取	6本	φ100mm程度想定
内視鏡調査	6本	市街地乙・丘陵地 測点間隔20m
■室内土質試験		
土粒子の密度(比重)	3試料	
土の含水比試験	3試料	
土の粒度(沈降分析)	2試料	粘性土
土の粒度(ふるい分析)	1試料	0.5kg以下
土の液性限界	2試料	
土の塑性限界	2試料	
土の湿潤密度試験(ノギス法)	3試料	
三軸圧縮試験(UU) φ50mm	2試料	
三軸圧縮試験(CU) φ50mm	1試料	間隙水圧測定含む
■総合解析	1式	ボーリング本数16
■準備等		
準備及び片付け	1式	環境保全(仮囲い)等を含む
材量調査用規制	1式	
ボーリング調査孔	2箇所	
材料小調査用コア孔復旧	1式	6カ所石積擁壁
■地質調査解析	1式	ボーリング本数16本
■石積み擁壁部材料調査検討	1式	延長200mを想定
■石積み擁壁部健全度評価	1式	
■軟弱地盤解析	1業務	

カ-(カ) 法面予備設計

工種、種別、細別	数量	適用
■法面工予備設計		
設計計画	2箇所	法面部1箇所、石積部1箇所
設計条件の確認	2箇所	
比較形式選定	2箇所	
概略設計計算	2箇所	
協議資料作成	2箇所	
概算工事費算出	2箇所	
比較一覧表作成	2箇所	
照査	2箇所	